

一般社団法人室内環境学会 2020 年度 第 1 回臨時理事会議事録

日 時：2020 年 6 月 5 日（金）15:00～17:00

場 所：オンライン会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、山口 一、篠原直秀、水越厚史、鍵 直樹、三宅祐一、徳村雅弘、
一條佑介、Tin Tin Win Shwe

監事：野口美由貴

オブザーバー：佐藤博

事務局：橋本一浩（事務局長）、萬羽郁子（会計）、中島大介、色摩 操

欠席：小沼ルミ

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 9 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 2020 年学術大会準備状況

一條理事より資料に基づき 2020 年学術大会の準備状況が説明され、コロナ禍への対応について各理事と意見交換された。

- ・ 現地開催、リモート開催とするかはコロナ禍の情勢を見て判断することとし、どちらにも対応できるように準備していくことで一致した
- ・ ポスター発表の方法については要検討
- ・ テクニカルツアー、懇親会は中止にしたいという意向が一條理事より述べられ、出席者全員が賛成した
- ・ 現地開催しない場合は、会場費のキャンセル料金が発生する

2. 事業委員会より報告

山口事業委員長より、2月にフーハ大阪で室内環境学会講演会が開催され、10万円の黒字であったと報告された。2020年度講演会（於：JASIS2020）の開催については検討中とのこと。

3. 広告費の見直し

水越広報委員長より、広告費用の見直しについて提案があった。現在は1年単位の契約だが、年3期に分割して年度途中の新規契約に対応できるようにし、1万円/期に設定、さらに1年通年の契約の場合には2万円/3期に設定する案（会員のみ）。これに対し出席理事から、2期だけの契約への割引、非会員の料金分割についても検討すべきではないかとの意見が出され、再度、広報委員会で検討することとなった。

また、1社による複数バナーの掲載時の割引、アニメーションバナー掲載を認めていきたいと提案され、全会一致で承認された。

4. 2019 年学術大会報告

三宅大会長より 2019 年学術大会の収支会計について報告があり、113万円の黒字になったとのこと。

5. 書籍の出版

関根理事長より、「室内環境の辞典（仮題、A5版400頁）」の出版を朝倉書店から打診されているとの説

明があり、その出版企画書が示され、全会一致で承認された。今後、WG を立ち上げ 2022 年の出版を目標に準備を進めていくこととなった。

6. 新規 WG 設立

篠原理事より、新型コロナウイルス対策の研究・議論の場として「室内環境における新型コロナウイルス感染対策WG」の新規設立が提案され、全会一致で承認された。年度途中であるが緊急的に設立することとし 20 万円の活動費を充てることになった。また篠原理事からは外部研究資金への申請も検討していきたいとの考えが示された。

7. 新型コロナウイルスに関する会員へのアンケート

鍵理事より、法人会員を対象とした「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート（案）」が示され、HP への掲載、メール配信が提案され、全会一致で承認された。会員のニーズを汲み上げることで、新型コロナウイルス WG が取り組むべき課題を調べていきたいとのこと。

8. その他

- ・ 事務局より 2019 年 11 月～2020 年 5 月の入会承認者 5 名（法人会員 2 社、正会員 2 名、学生会員 1 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 2 名（正会員）のリストが示され承認された。
- ・ 会員動向として、2020 年 6 月 1 日時点で正会員 360 名、法人会員 54 社（団体）、学生会員 75 名、シニア会員 10 名であると報告された。
- ・ 三宅理事より学術委員会へ、以前から検討している新規表彰の素案作りを進めてほしいと要望があった。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

徳村雅弘

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

三宅祐一

印

Tin Tin Win Shwe

印

一條佑介

印